

アイヌ文化

能楽

特別イベント

各演目の紹介

ウエランカラフ／ アイヌの正式な挨拶

正式な作法にのっとりた挨拶で、それぞれが自分の節にのせ、格式高い特別な言葉を使っています。

能楽の披露／ 能船弁慶

（なふせんけい）

兄頼朝と不和になり都落ちを決意した義経は、弁慶ら一行と大物の浦へ向う。静御前との名残惜しい別離を済ませ船出すると天候が急変し、激しい荒波と共に平知盛の亡霊が現れる。しかし弁慶の懸命の祈祷により亡霊は退散する。

アイヌ伝統芸能の披露／ 伝統芸能上演「イノミ」

アイヌの精神文化を象徴するイヨマンテ（熊の霊送り）では、数多くの歌や踊りでカムイをもてなします。現代では、イヨマンテについて見聞きする機会が少なくなり、先人たちが執り行ってきた当時の感覚を知り次代に伝えていきたいという想いから「イノミ」が生まれました。イノミでは、踊りの原点ともいえる祈りの心を表現しています。

能楽披露における 出演予定者

ー 公益社団法人能楽協会 ー

- ◆ シテ（静御前／平知盛の怨霊）
- ◆ 子方（源義経）
- ◆ ワキ（武蔵坊弁慶）
- ◆ ワキツレ（家来）
- ◆ アイ（船頭）

- 角当直隆
- 角当美織
- 野口能弘
- 野口琢弘
- 榎本元

- ◆ 笛 小野寺竜一
- ◆ 小鼓 大倉源次郎
- ◆ 大鼓 國川純
- ◆ 太鼓 梶谷英樹
- ◆ 後見 観世淳夫

- ◆ 後見 松山隆之
- ◆ 地謡 観世喜正
- ◆ 地謡 川口晃平
- ◆ 地謡 武田祥照
- ◆ 地謡 坂井隆夫

